



平成26年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年3月14日

上場会社名 株式会社スリー・ディー・マトリックス 上場取引所 東(JASDAQグロース)
 コード番号 7777 URL <http://www.3d-matrix.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 健太郎
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 新井 友行 (TEL) 03(3511)3440
 四半期報告書提出予定日 平成26年3月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第3四半期の連結業績(平成25年5月1日~平成26年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第3四半期	56	100.0	△1,048	—	△1,057	—	△1,058	—
25年4月期第3四半期	0	△100.0	△706	—	△696	—	△697	—

(注) 包括利益 26年4月期第3四半期△1,058百万円(—%) 25年4月期第3四半期 △699百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第3四半期	△54.20	—
25年4月期第3四半期	△37.72	—

(注) 当社は、平成24年9月1日付及び平成25年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年4月期第3四半期	4,258	3,499	79.2
25年4月期	3,020	2,065	67.3

(参考) 自己資本 26年4月期第3四半期 3,371百万円 25年4月期 2,031百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年4月期	—	0.00	—	—	—
26年4月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年4月期の連結業績予想(平成25年5月1日~平成26年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106	232.6	△1,464	—	△1,475	—	△1,476	—	△75.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年4月期3Q	19,868,400株	25年4月期	18,936,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年4月期3Q	112株	25年4月期	112株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年4月期3Q	19,531,313株	25年4月期3Q	18,487,210株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成24年9月1日付及び平成25年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは主要技術である自己組織化ペプチド技術による医療製品の開発に引き続き注力しております。

吸収性局所止血材(TDM-621)について、日本国内においては独立行政法人医薬品医療機器総合機構(以下「PMDA」という。)による製造販売承認申請に係る審査が継続しております。米国においては、米国国内での臨床試験の開始に向け、米国食品医薬品局(以下「FDA」という。)と引き続き協議を進めております。欧州地域においては、平成26年1月14日付でCEマーク指令適合を受け、EU加盟国およびニュージーランド、香港等に販売が可能となりました。また、CEマークを取得したことにより、CEマークを採用しているその他の地域においても、臨床試験を実施せずに製造販売承認申請を行うことが可能となりました。当社グループは、今後欧州地域の複数の有力施設において、臨床研究を実施するなど保険の推奨リストへの採用並びに各医療機関での採用向上に向け事業を進めてまいります。同時に、販売可能となった地域における販売パートナーとの販売権許諾契約の締結に向けた交渉、選定も進めてまいります。アジア地域については、平成25年5月に当社のシンガポール子会社3-D Matrix Asia Pte. Ltd.がインドネシアPT. Teguhindo Lestaritamaとインドネシアにおける独占販売権許諾契約を締結いたしました。当社グループは、インドネシアにおける製造販売承認の取得、中国、シンガポール、オーストラリアを含むアジア・オセアニア地域への展開に向け準備を進めてまいります。

歯槽骨再建材(TDM-711)については、米国において15症例の施術が完了し、経過観察を実施しております。当該経過観察の結果をもとにFDAと協議を進めております。

粘膜隆起材(TDM-641)については、臨床試験の開始に向け、PMDAと協議を進めております。

このような結果当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、事業収益は56,465千円(前年同四半期比56,452千円増加)、経常損失1,057,846千円(前年同四半期は経常損失696,254千円)、四半期純損失1,058,596千円(前年同四半期は四半期純損失697,284千円)となりました。

なお、当社グループの事業は単一セグメント(医療製品事業)であるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における総資産は4,258,248千円(前連結会計年度末比1,237,810千円の増加)となりました。

流動資産につきましては、3,740,234千円(同1,256,254千円の増加)となりました。これは主に、現金及び預金の増加863,519千円及びたな卸資産の増加339,854千円によるものです。

固定資産につきましては、518,013千円(同18,444千円の減少)となりました。これは主に、特許権の取得等に伴う無形固定資産その他の増加14,476千円、投資その他の資産に含まれる長期前払費用の増加14,134千円があるものの、無形固定資産であるのれん償却額による減少52,500千円によるものです。

負債につきましては、758,904千円(同195,907千円の減少)となりました。これは主に、流動負債その他に含まれる未払金の増加55,480千円はあるものの、短期借入金の減少300,000千円によるものです。

純資産につきましては、3,499,343千円(同1,433,717千円の増加)となりました。これは主に四半期純損失による利益剰余金の減少1,058,596千円はあるものの、公募増資等による資本金の増加1,198,853

千円及び資本剰余金の増加1,198,764千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月期の連結業績予想につきましては、本日(平成26年3月14日)発表いたしました「平成26年4月期業績予想の修正に関するお知らせ」において連結業績予想を修正しておりますのでご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,033,363	2,896,883
たな卸資産	260,703	600,558
その他	189,912	242,793
流動資産合計	2,483,979	3,740,234
固定資産		
有形固定資産	106,629	107,608
無形固定資産		
のれん	326,668	274,168
その他	56,605	71,081
無形固定資産合計	383,273	345,250
投資その他の資産	46,554	65,154
固定資産合計	536,457	518,013
資産合計	3,020,437	4,258,248
負債の部		
流動負債		
短期借入金	800,000	500,000
未払法人税等	3,647	6,633
その他	109,017	220,080
流動負債合計	912,664	726,713
固定負債		
その他	42,146	32,190
固定負債合計	42,146	32,190
負債合計	954,811	758,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,139,400	3,338,253
資本剰余金	2,129,400	3,328,164
利益剰余金	△2,266,212	△3,324,808
自己株式	△59	△59
株主資本合計	2,002,528	3,341,550
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	29,417	29,558
その他の包括利益累計額合計	29,417	29,558
新株予約権	33,680	128,234
純資産合計	2,065,625	3,499,343
負債純資産合計	3,020,437	4,258,248

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)
事業収益		
売上高	13	6,388
研究開発事業収益	—	50,077
事業収益合計	13	56,465
事業費用		
売上原価	1	2,634
研究開発費	272,213	427,616
販売費及び一般管理費	434,600	675,048
事業費用合計	706,815	1,105,299
営業損失(△)	△706,802	△1,048,833
営業外収益		
受取利息	180	257
為替差益	20,276	18,570
補助金収入	—	1,099
その他	35	402
営業外収益合計	20,492	20,329
営業外費用		
支払利息	4,548	8,449
支払手数料	4,536	4,536
株式交付費	554	15,615
その他	303	740
営業外費用合計	9,944	29,342
経常損失(△)	△696,254	△1,057,846
税金等調整前四半期純損失(△)	△696,254	△1,057,846
法人税、住民税及び事業税	712	712
法人税等調整額	317	37
法人税等合計	1,029	749
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△697,284	△1,058,596
四半期純損失(△)	△697,284	△1,058,596

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△697,284	△1,058,596
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,519	141
その他の包括利益合計	△2,519	141
四半期包括利益	△699,803	△1,058,454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△699,803	△1,058,454
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成26年1月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当第3四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成26年1月31日)

当社グループは、単一セグメント(医療製品事業)のため記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成26年1月31日)

当社は、平成25年7月23日を払込期日とする公募による新株式発行を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が1,144,687千円、資本準備金が1,144,687千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,338,253千円、資本剰余金が3,328,164千円となっております。

(6) 重要な後発事象

新株予約権(ストック・オプション)の発行について

当社は、平成26年2月17日開催の取締役会において、会社法第236条、第238条および第239条の規定に基づき、当社子会社の従業員および社外協力者に対して、ストック・オプションとしての新株予約権を発行することを下記のとおり決議いたしました。

(1) 目的

当社子会社の従業員のうち主に前回付与時以降に入社した従業員に対して、中長期的なインセンティブを持たせることを目的としており、また、社外協力者に対して、ストック・オプションを保有していただくことにより、当社へのコミットメントをよりいっそう高め、幅広い知見や実績に基づき当社技術体制や経営管理体制の強化を図ることを目的としており、いずれも当社グループ全体の事業推進やグローバル展開を加速させ、企業価値の向上や株主の利益向上を目指して新株予約権を発行するものであります。

(2) 新株予約権の名称

株式会社スリー・ディー・マトリックス 第14回新株予約権

(3) 新株予約権の割当対象者

当社子会社従業員および社外協力者 5名

(4) 新株予約権の総数

304個

(5) 新株予約権の目的である株式の種類および数

当社普通株式 30,400株

なお、当社が株式分割または株式併合を行う場合、目的株式数を調整するものとする。ただし、かかる調整は、本新株予約権のうち、当該時点で行使されていない本新株予約権の目的株式数について行われ、調整の結果生ずる1株未満の端数は、これを切り捨てるものとする。

(6) 新株予約権1個当たりの目的である株式の種類および数

当社普通株式 100株

なお、上記(5)に定める新株予約権の目的株式数の調整を行った場合は、同様の調整を行う

ものとする。

- (7) 新株予約権と引き換えに払い込む金額

金銭の払込みを要しないものとする。

- (8) 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額

新株予約権1個当たり 494,700円(1株当たり4,947円)

なお、当社が株式の分割・併合および時価を下回る価額で株式を発行または自己株式の処分を行う場合は、1株当たりの行使価額を調整し、調整の結果生じる1円未満の端数は切り上げる。

- (9) 新株予約権の割当日

平成26年3月6日

- (10) 新株予約権を行使することができる期間

平成28年3月7日から平成36年3月6日までとする。

- (11) 新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金および資本準備金に関する事項

本新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金の額は、会社計算規則第17条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の額(計算の結果1円未満の端数を生じる場合はその端数を切り上げた額)とし、増加する資本準備金の額は、上記の資本金等増加限度額から増加する資本金の額を減じた額とする。

- (12) 新株予約権の譲渡制限

譲渡により本新株予約権を取得するには、当社取締役会の承認を要するものとする。